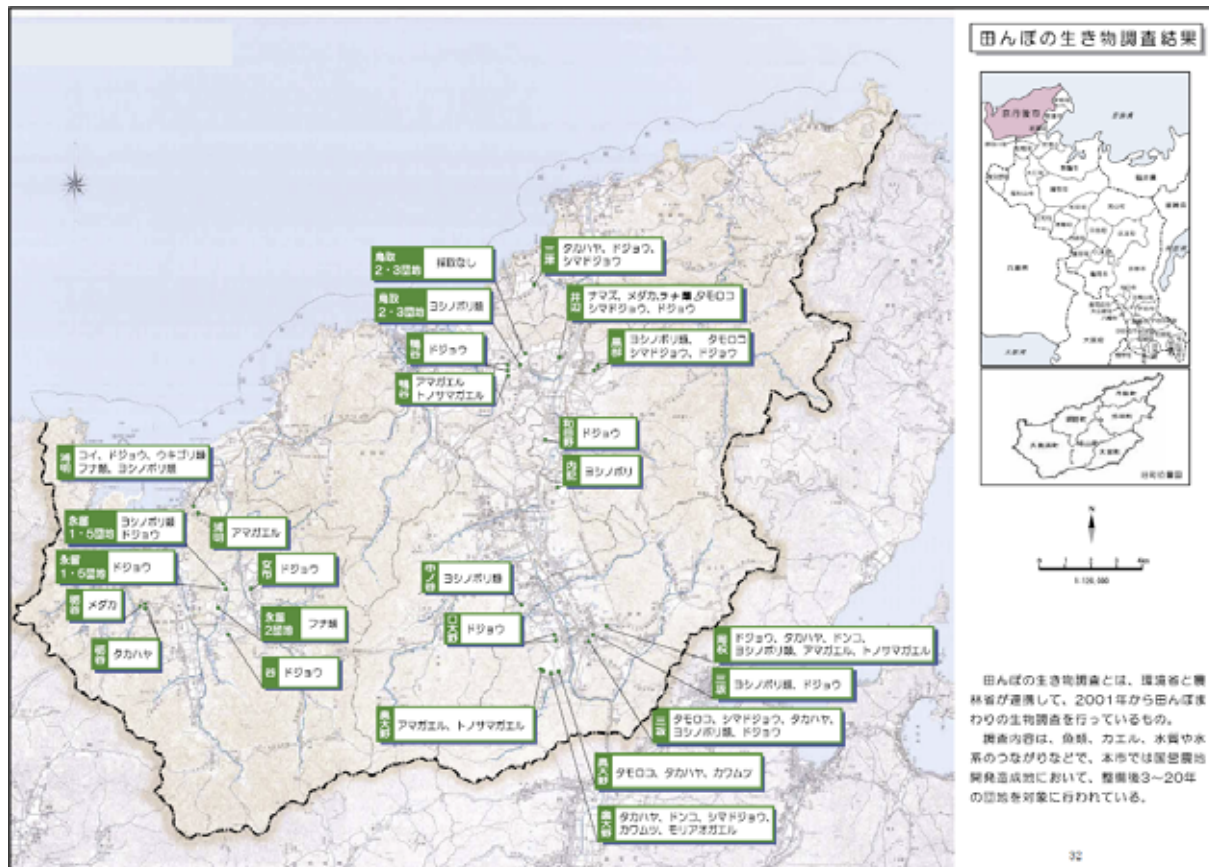


表 2-20 田んぼの生き物調査結果（両生類）

団地名	調査月日	整備経過年数	非灌漑期の田面状況	採捕された環境	調査結果
鴨谷	7月上旬	10～20年	乾いている	畔	アマガエル、トノサマガエル
奥大野	7月上旬	7～9年	乾いている	畔	アマガエル、トノサマガエル、 不明種A
奥大野	6月上旬	7～9年	乾いている	小水路内	モリアオガエル
	6月上旬	10～20年	乾いている	小水路内	トノサマガエル
周枳	6月上旬	10～20年	乾いている	小水路内	アマガエル、トノサマガエル
浦明	7月上旬	10～20年	乾いている	農道（舗装無し）	アマガエル

田んぼの生き物調査結果図



(9) 身近な資源に関するアンケート調査

① アンケート内容

身近に見られる生物について、市内の全集落の農会役員等に対してアンケート調査を実施した。

アンケート調査の結果により本市の動物相を把握することは、生物調査として完全なものとはいえないが、住民が身近にいると感じる動物や、現在と過去の傾向の把握に視点を置き、これを整理する。

○ 調査方法および内容

■ アンケート調査

市内の全集落の農会役員等に郵送にて配布。1 集落あたり 1～3 部配布。

配布数：187 部 回収数：121 部 回収率：64.7%

■ アンケート内容

- ・現在みられる生物（メダカ、トノサマガエル、ホタル類、イノシシ、フクロウ）
- ・子供のころ見られた生物（メダカ、トノサマガエル、ホタル類、イノシシ、フクロウ）
- ・地域で自慢できること、地域おこしに使えるようなこと

② アンケート結果（身近な生物）

アンケート調査の結果判明した、本市の身近な生物の特徴を以下に整理する。

表 2-21 アンケート結果（身近な生物）

動物名	結果概要
メダカ	河川敷内の緩やかな流れや池、水田や灌漑用水路に生息する。全国的に減少が著しく、京都府のレッドデータブックでは絶滅危惧種に指定されている。本来どこにでもみられる普通種であったが、全国的に減少し、現在の府内生息地もきわめて限られる。 本市では過去には平地部のほとんどで見られていたが、現在では見られる場所が減少している。特に久美浜町の川上谷川や佐濃谷川流域でその減少が顕著にみられる。その他の地域においても、網野町の離湖近辺や大宮町の常吉川、久住川流域の周辺で過去と比較すると減少がみられる。
トノサマガエル	かつては京都府内外で普通に見られたが、環境変化により近年著しく減少している。平地、丘陵地に生息し、4～6月に水田、浅い池などで繁殖するが、近年の水田の減少、水質汚濁などが生存を脅かしている。 本市では、市街地以外の主な平地でトノサマガエルが見られており、現在と過去では一部減少がみられるものの、特に大きな変化はみられない結果となっている。
フクロウ	京都府内では個体数は少なくはないが、近年減少している。樹洞のある老木が減少し、また営巣条件として重要なネズミの多い農耕地と営巣木のある社寺林等のセットが、住宅地建設などにより分断されることも繁殖環境の悪化につながっている。 本市では過去には平地から山地にかけてフクロウが見られていたが、過去に平地部で見られていたものが現在では減少しており、これは農地や社寺林等の減少によるものではないかと考えられる。
イノシシ	近年農作物への被害が増加し、深刻な問題となっている。 過去では市内でも山地部の一部などで見られていたが、現在では山地から市街地に近い平地部にかけての広範囲に渡って見られ、その増加は顕著である。
ホタル類	現在、過去ともに市の広範囲でみられており、特に変化が見られない結果となっている。過去と比較して網野町の海岸部近くで一部減少が見られるが、過去に見られた場所では現在もホタルが見られるところが多い。これは、現在と過去で全く変化がないというよりも、ほ場整備や開発などでいったん減少し、最近になり再び増加してきたため、昔と同じ状況に戻ってきている事が推察される。

◇アンケート結果（メダカ）

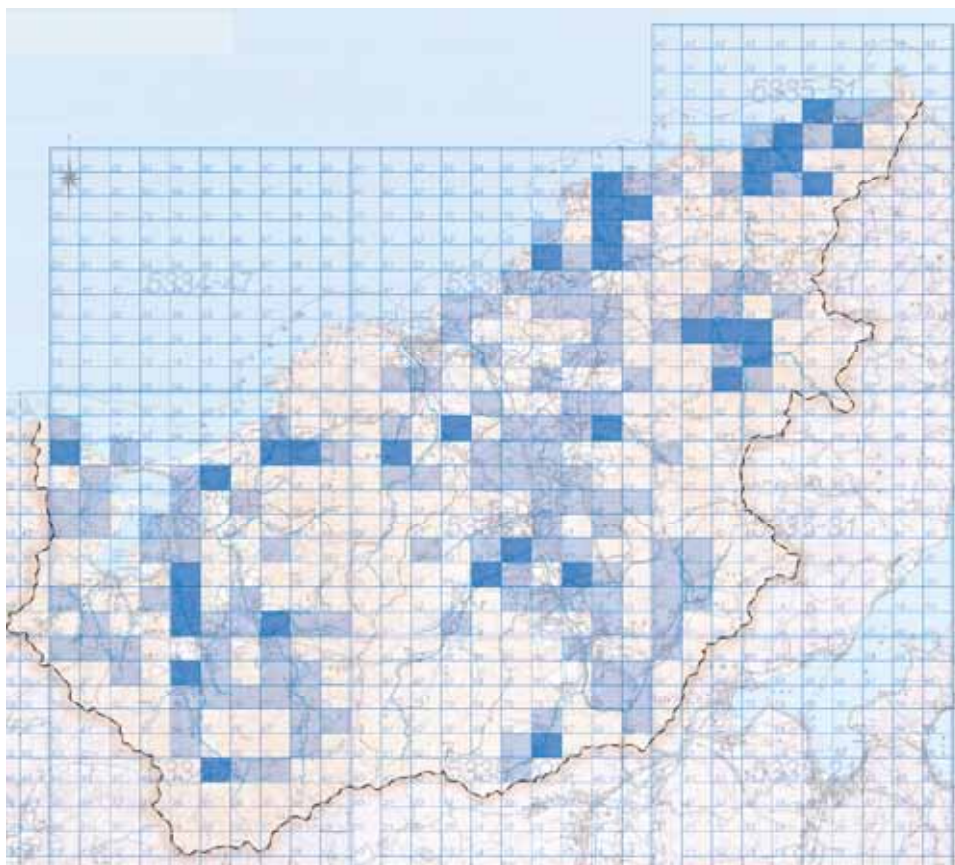


図2-4 メダカ過去

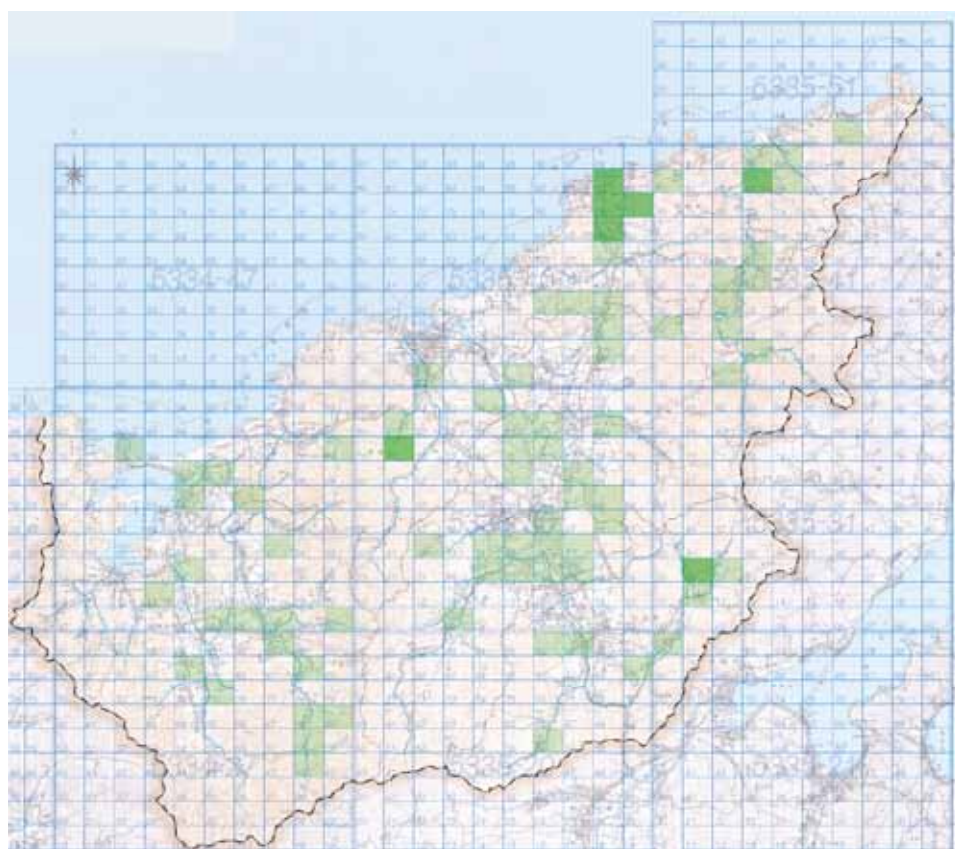


図2-5 メダカ現在

◇アンケート結果（トノサマガエル）

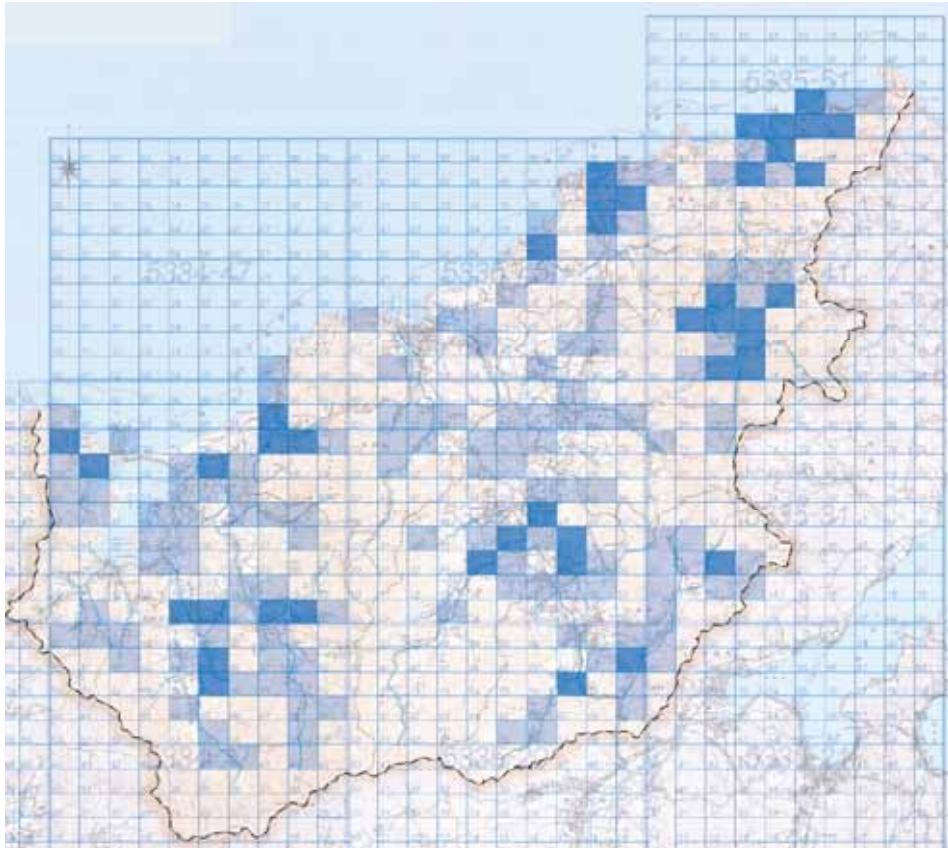


図2-6 トノサマガエル過去

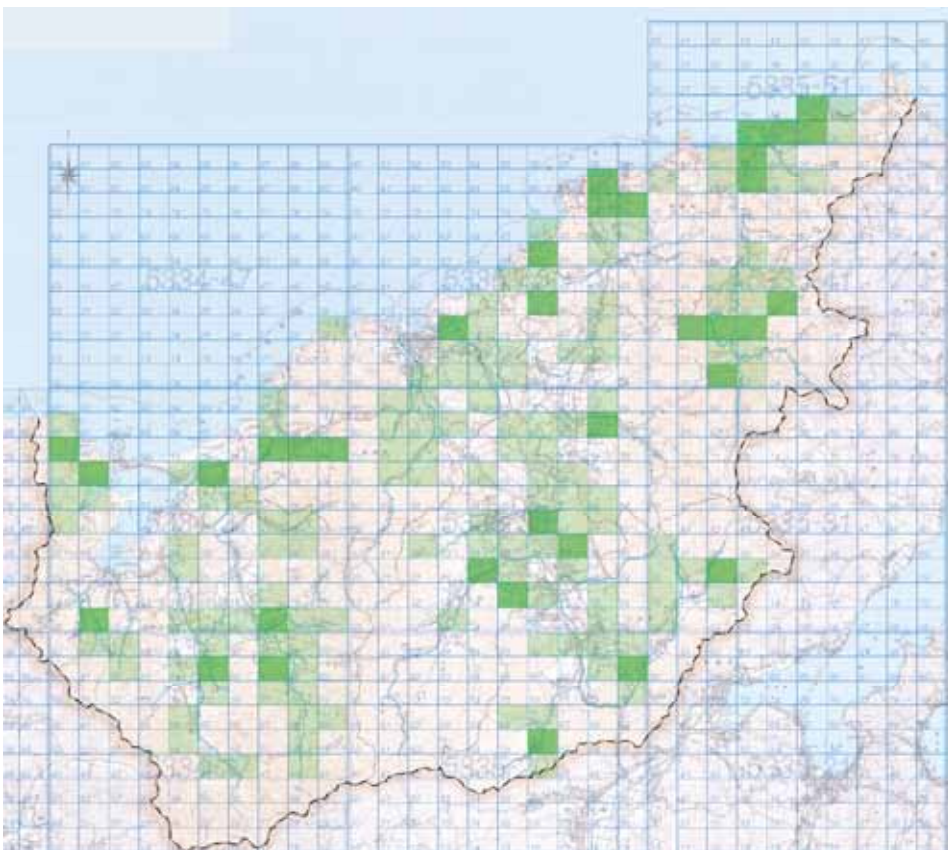


図2-7 トノサマガエル現在

◇アンケート結果（フクロウ）

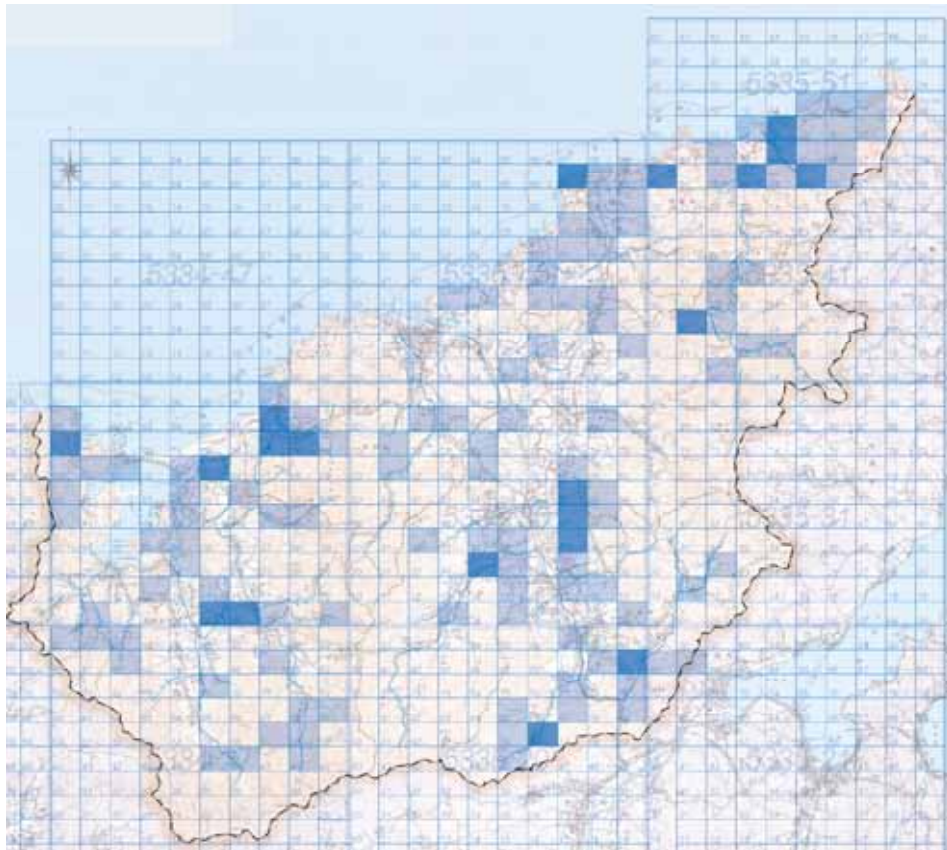


図2-8 フクロウ過去

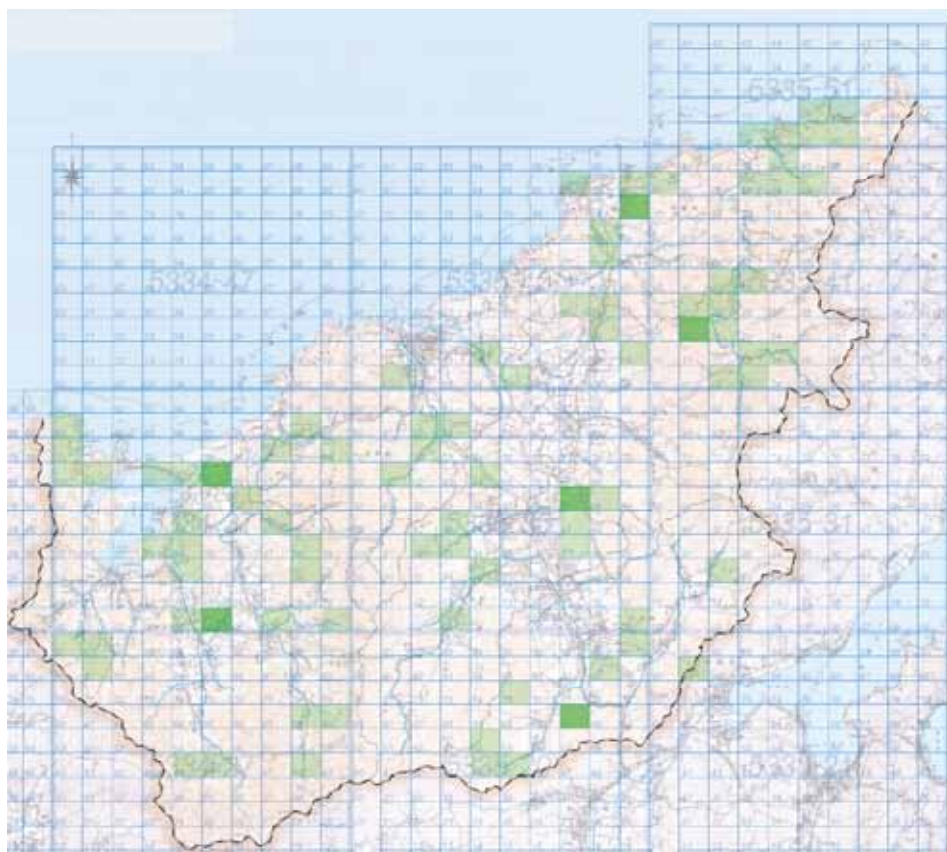


図2-9 フクロウ現在

◇アンケート結果（イノシシ）

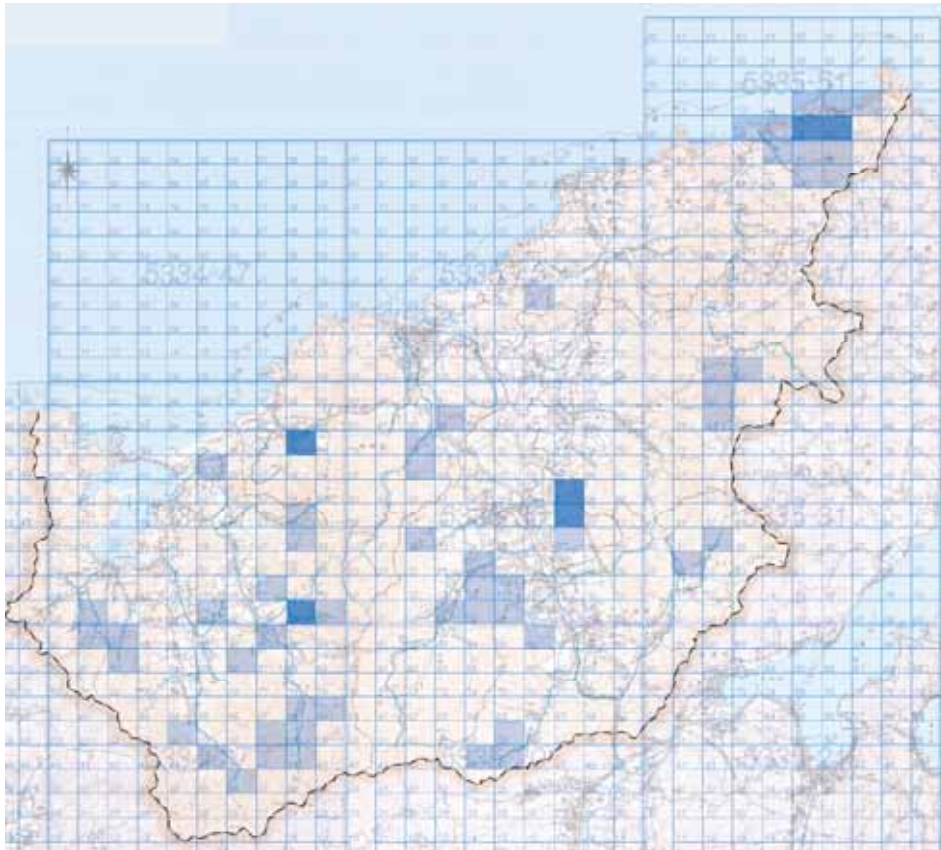


図2-10 イノシシ過去

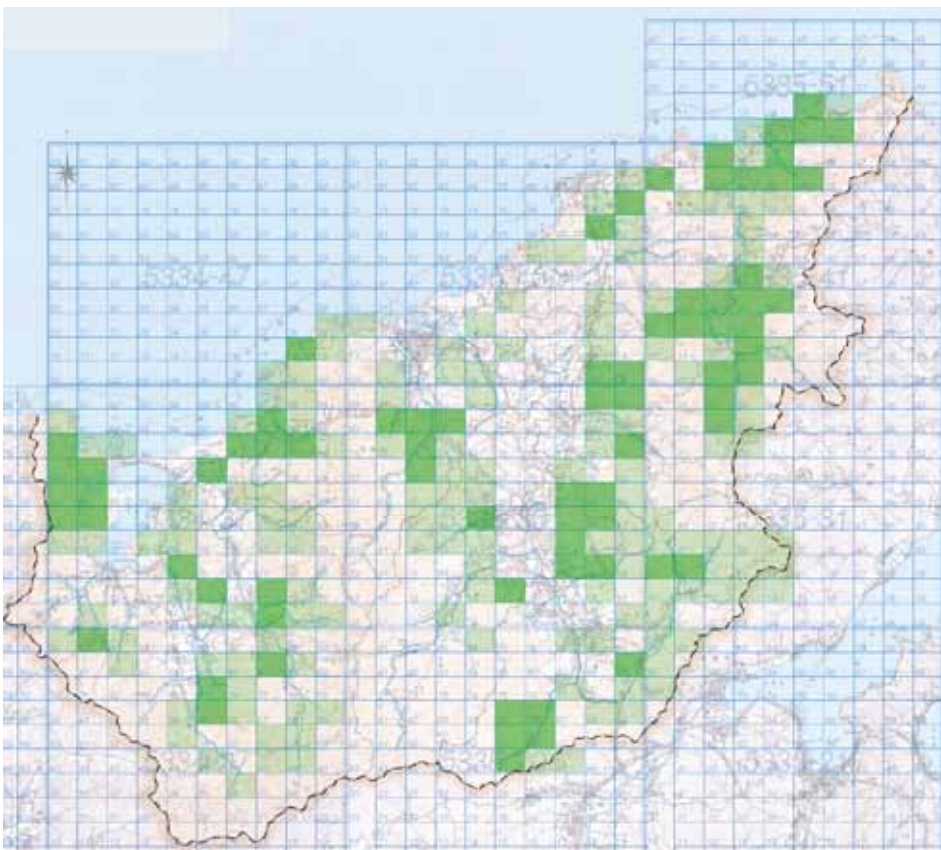


図2-11 イノシシ現在

◇アンケート結果（ホタル）

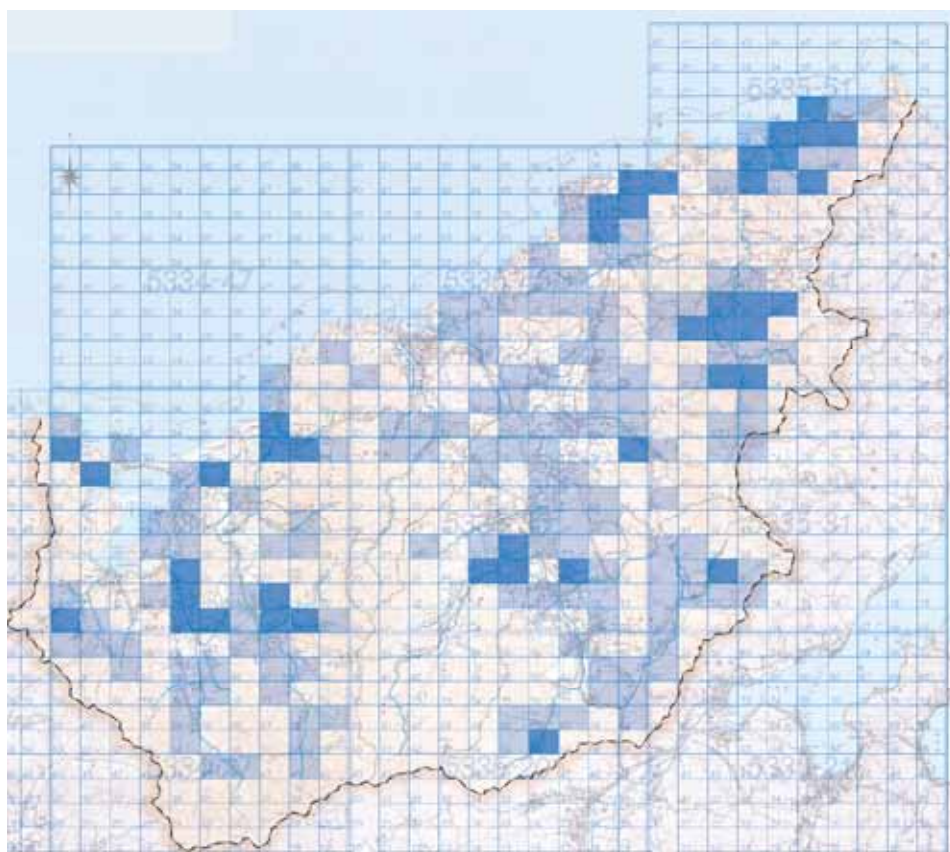


図2-12 ホタル過去

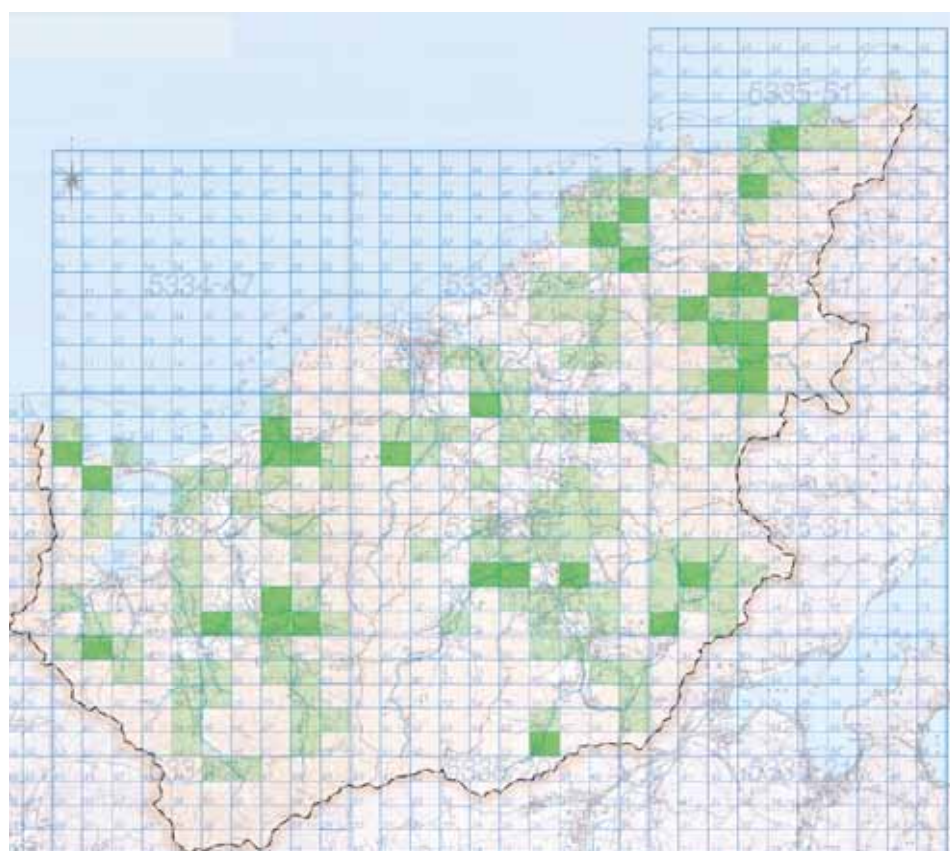


図2-13 ホタル現在

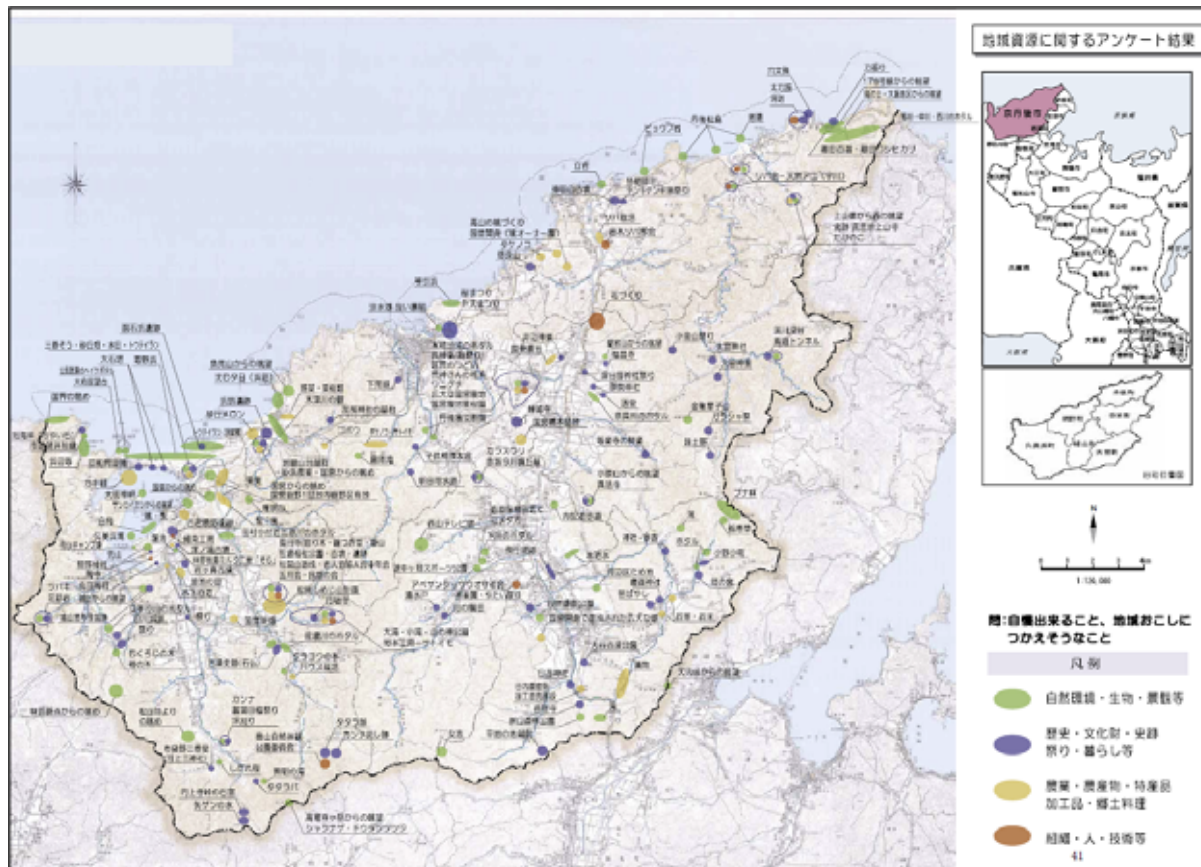
③ アンケート結果（地域資源）

アンケート調査の結果判明した、住民が地域で自慢できること、地域おこしに使えるようなことを以下に整理する。

表 2-22 アンケート結果（身近な生物）

分類	結果概要
自然環境・生物・景観等	自然環境では、郷村断層や滝などの資源があげられている。 生物では、ホタルやアベサンショウウオなどの動物、トウテイランや大木などの植物があげられている。 景観では、山などからの眺めや海の眺めなど眺望が多くあげられている。また、丹後松島や公園などの場所も多くあげられている。
歴史・文化財・史跡・祭り・暮らし等	歴史・文化財・史跡については、古墳や寺社などの資源が数多くあげられており、地域住民の歴史・文化財等への関心が高いことが伺える。 また、地域の祭りも多く挙げられており、地域に密着した活動が盛んであることも推察できる。
業・農作物・特産品・加工品・郷土料理等	農産物で最も多く挙げられていたのが、米（コシヒカリ）であり、大変おいしいと自慢出来るものとしてあげられている。野菜では、水菜や里芋、たけのこ、果物ではメロンや桃、梨、加工品ではこんにゃくなどがあげられていた。 自慢できるもの、地域おこしに使えるなこととして、国営造成農地があげられているのも本市の特徴であると言える。
組織・人・技術等	地域に密着した婦人会や青年会、営農組合等の組織が挙げられている。

アンケート結果（地域資源）



(10) 景観

① 京丹後市の景観資源

本市は、海に面している地形ゆえに、立岩の自然岩や夕日ヶ浦など、美しい景観資源がある。以下に本市の主な景観資源の概要をまとめる。

表 2-23 京丹後市の景観資源

名 称	概 要
丹後松島	比代から東方、経ヶ岬の方を見る眺めが日本三景の一つ「松島」に似ているので、丹後半島と呼ばれている。「京都百景」のひとつ。
屏風岩	筆石地区の海岸に屏風のようにそびえる高さ 13m もある奇岩で、北西の方にかけて、小さい岩が 5 つほど海に浮かんでいる。
立岩	麻呂子親王の鬼退治伝説のある立岩。周囲が約 1km もあるといわれる、日本でも数少ない自然岩のひとつであり、リアス式海岸で奇岩の多い丹後町でもシンボリック存在である。
袖志の棚田	棚田の枚数は約 400 枚。そこからは青い海を見渡すことができる。海と里山と集落が調和した美しい景観が評価され、「日本の棚田百選」にも選ばれている。
夕日ヶ浦	網野町で最も美しい夕日を見ることができる。水平線の彼方に沈む夕日は奇岩のシルエットと打ち寄せる波とのコントラストを美しく演出してくれる。
磯砂山	標高 661m、峰山の最高峰で、大江山・天橋立・小天橋が一望できる。頂上には、天女モニュメントが設置されている展望台「てんてん広場」があり、すばらしい景色が疲れを癒してくれる。
経ヶ岬灯台	丹後半島の先端、海拔 140m の断崖に立つ経ヶ岬灯台は「京都百景」に選ばれた景勝地。明治 31 (1898) 年 12 月 25 日に初点灯。レンズは全国で 6 灯台しかない最高級の第 1 等レンズを使用している。

資料：海・山・憩 京丹後市観光パンフレット 旅の達人



図2-14 丹後松島



図2-15 屏風岩



図2-16 立岩



図2-17 磯砂山



図2-18 経ヶ岬

写真引用) 特集京都の自然 200 選/京都府

② 農村景観

市内には、「日本の棚田百選」(平成 11 年)に選ばれた袖志の棚田(丹後町)や、平野部一面に広がる田や砂丘農業など、農業地域特有の景観がある。

袖志の棚田は、丹後半島突端の経ヶ岬から国道 482 号線から 3km ほど西方に位置し、棚田枚数は約 400 枚である。棚田からは、青い海を見渡すことができる。



図2-19 袖志の棚田



図2-20 袖志の棚田の稲刈り後の風景



図2-21 平野部に広がる田(弥栄町)



図2-22 砂丘農業(久美浜町秦宮町付近)

市内の集落は、住宅前に水路が流れ、住宅の基礎部分が石積みで築造されている景観が見られる。



図2-23 住宅前の水路(峰山町長岡付近)



図2-24 住宅の石積みと植栽(峰山町長岡付近)

写真：2005 年 9 月現地調査時撮影

景觀写真位置図



2.1.3 社会環境

(1) 地域指定

① 都市計画区域の指定

本市は総面積が 50,183ha であり、うち都市計画区域面積はその約 16%の 8,058ha が指定されている。なお、都市計画区域は合併以前の旧町の合計であり、現在見直し中である。

② 環境に関する地域指定

本市の海岸線一帯は、丹後町の海岸線が若狭湾国立公園に、久美浜町、網野町の海岸線が山陰海岸国立公園の指定を受けている。

なお、国立公園とは、日本のすぐれた自然の風景地を保護するとともに（美しく特色のある海中の景観を含む）、その利用の増進を図り、国民の保健・休養・教化に資することを目的としている。国立公園は自然公園制度という体系の中に含まれる制度で、自然公園には国立公園と都道府県立自然公園も含まれる。国立公園の行政的管理責任者は環境省であり、国立公園は都道府県である。自然公園の概要を以下にまとめる。

表2-24 自然公園の概要

自然公園名	概 要
若狭湾 国立公園	福井県と京都府にまたがり、福井県敦賀市（気比の松原）から丹後半島つけ根の京都府岩滝町に至る 75 kmの海岸と、京都府の伊根町（青島）から網野町（小浜 海岸）に至る 45 kmの海岸からなる公園。 若狭湾は、複雑な入り江を有する沈降海岸が発達した典型的なリアス式海岸で、屈曲が多く、断崖、洞門、洞窟、岩礁などの風景要素に加えて、御神島、蒼島、冠島などの原始的な島嶼も点在させ、優れた海の景勝地といえることができる。 天ノ橋立は日本三景の一つ、延長 3 km、幅 150mの白砂青松の砂洲である。内浦湾の先端の音海の手食崖は、高さ 260mにおよび、この公園の一つの呼びものとなっている。 内外海半島の蘇洞門は花崗岩の岩壁で、洞門、洞窟が続き、これもまた、この公園のハイライトになっている。 三方五湖は沈水したかつての溺れ谷で、現在は砂嘴や砂丘の発達によって潟湖と変じ、浦見川、嵯峨暗渠の開削によって五つの湖がつながっており、近くの梅丈岳（395m）は絶好の展望台となっている。
山陰海岸 国立公園	本公園は、東は京都府の網野海岸から西は鳥取県の鳥取砂丘までの延長 75kmに及ぶ海岸線を中心に指定された公園である。海岸の大部分は山地が直接海に接する沈水海岸で海食崖・海食洞・岩礁などが著しく発達し、一部には海食で生じた砂や河口から運ばれた砂が砂質海岸を形成している。 植生は大部分が二次林で自然林は島や岬の先端部などに限られるが、砂丘では飛砂・酷暑に耐えられる特有な植物も見られる。動物では海鳥類がよく観察できる。 また、海中公園地区では起伏に富む海中地形や海藻類の群落が特筆される。 利用形態は、ドライブ・遊覧船による海岸景観の観賞・海水浴・味覚探訪などが主なものである。

資料：「生物多様性情報システムホームページ 日本の自然保護地域」より
<http://www.biodic.go.jp/jpark/jpark2R.html>

自然公園については、さまざまな行為を規制し、その風致景観を保護するため、各種の許可・届出が必要となっている。

③ 国際的な措置

ラムサール条約等、環境に関する国際的な措置には該当していない。

④ 鳥獣保護区指定

市内の久美浜湾、兜山、網野離湖、丹後あじわいの郷、権現山、碓高原、弥栄町スイス村が鳥獣保護区に指定されている。

如意寺山、網野町網野、丹後町竹野川、峰山町杉谷、京丹後市中部などが銃猟禁止区域に指定されている。なお、久美浜町のほぼ一体がメスジカ狩猟可能地域に指定されている。

(2) 地域指標

京丹後市の総人口は減少傾向にあり、平成17年現在（国勢調査速報値）で62,724人となっている。世帯数は、20,965世帯で年々増加傾向にあるが、これは核家族化や単身世帯の増加などにより一世帯当りの人員が減少しているためと考えられる。

表 2-25 人口の推移

(単位：人)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年 (国勢調査速報)	将来人口推計		
					平成22年	平成27年	平成32年
峰山町	14,387	14,026	13,564	13,259	12,743	12,289	11,703
大宮町	10,291	10,416	10,805	10,757	11,022	10,813	10,525
網野町	17,269	16,696	16,056	15,361	14,481	13,586	12,611
丹後町	8,042	7,607	7,164	6,545	6,286	5,873	5,453
弥栄町	6,275	6,125	6,132	5,705	5,807	5,494	5,146
久美浜町	12,821	12,338	11,857	11,097	10,849	10,251	9,665
計	69,085 (100%)	67,208 (97.3%)	65,578 (94.9%)	62,724 (90.8%)	61,188 (88.6%)	58,306 (84.4%)	55,103 (79.8%)

資料：国勢調査・市資料、将来人口推計：国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部
平成15年12月推計（速報値・確定値は未発表）

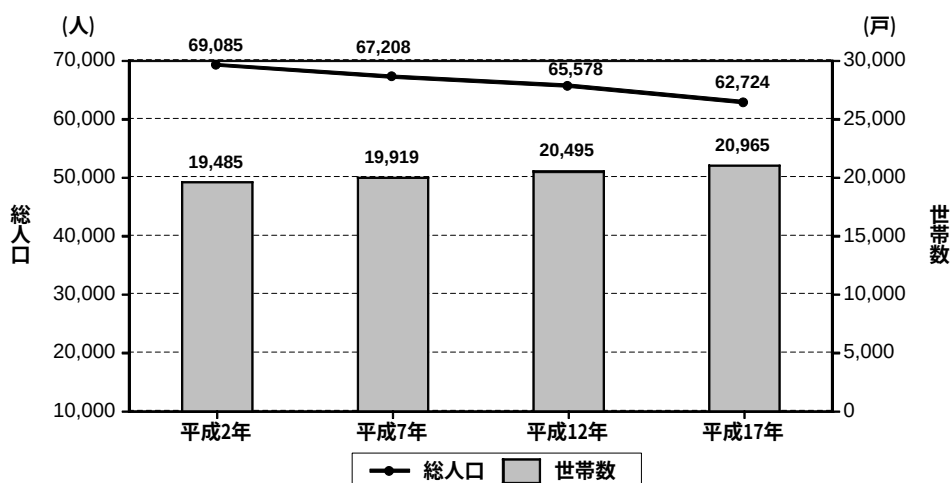


図2-25 人口と世帯数の推移

(3) 交通網

本市は、市中心部の峰山町から首都圏まで電車・新幹線を利用しても5時間以上、京都市までは車でも2時間半以上かかり、アクセスの強化が大きな課題の一つとなっている。

広域道路としては、京都縦貫自動車道と連絡する鳥取豊岡宮津自動車道（宮津網野道路（仮称））の整備計画があるが、現在、宮津野田川道路の計画が進められており、本市での早期着手が望まれている。

主要幹線としては、国道178号、312号、482号が市内を環状に走り、これを補完する形で、主要地方道及び府道が連絡している。

公共交通機関については、京阪神方面への主要なアクセスとなっている北近畿タンゴ鉄道が整備されており、JR線に接続の上、京都・大阪方面へ直通特急が運行されているが、利用者数（乗車人員）は減少する傾向にある。

また、路線バスについては、民間の丹後海陸交通が定期路線バスを運行しており、久美浜及び弥栄の一部地域は、市営バスを運行している。



(4) 地域資源

本市には数多くの地域資源があり、以下にその概要をまとめる。

表 2-26 京丹後市の地域資源(1/3)

町名	名称	内容
峰山町	ヒダサンショウウオ等の生息する磯砂山系の河川上流やその周辺の湿地帯	磯砂山系の河川上流の溪流及び湿地帯は、ヒダサンショウウオやアマゴが生息し、豊かな自然が残っている貴重な地域である。
	権現山	権現山は、古くから丹後地域一帯の人々に農耕の神としてあがめられてきた。室町時代には一色家、細川家などの武将の山城が築城されるとともに蔵王権現がまつられたため、権現山と呼ばれている。山頂には曲輪の跡や金峰神社奥宮があり、府歴史的な自然環境保全地域として人々に親しまれている。
	縁城寺の「シイ林」	縁城寺の境内地に広がる樹林には、シイの古木、巨木が群生している。地上 1.3m の高さにおいて幹周 5.8m のものが最大で、多数の巨樹が生育。地域の象徴として人々に愛され、自慢の樹林となっている。
大宮町	五十河の「内山ブナ林」	丹後半島最高峰の高山を含む内山山系の府内有数のブナ林。幹周 3.6m というブナの大木がある自然林は、自然愛好会や緑の少年団の自然観察などにも利用されており、このほか 100 種を超す樹木、それに倍する山野草、そして 89 種の野鳥も確認されている。
	クマタカの生息する内山山系	内山山系には数少ない大型猛禽類として貴重なクマタカが生息しており、ブナ林の分布域であることと併せ、その豊かな自然を象徴している。
	大野城趾（大野神社）	大野神社は、明治時代に、豊臣家の家臣であった大野道犬居城跡（大野城趾）に遷宮されたものである。 境内は、シイの巨樹をはじめ、タブノキ等の常緑広葉樹に、ケヤキ、ナラ、シデなどの落葉広葉樹が混交する林となっており、人々が心ゆくまで自然とふれあうことのできる憩いの場所である。
	アベサンショウウオの生息する丹後半島	アベサンショウウオは丹後半島の固有種であり、しかも浅い溜水に産卵するためその分布域が限定され、府の天然記念物にも登録されている貴重なものである。
網野町	生王部神社の「スダジイ」	網野町の生王部神社境内に生育するスダジイ。樹齢 300 年、幹周 6.9m、樹高は 8m と町内では他に類をみない巨樹老木である。森を背後にする神殿脇にどっしりとたたずみ、古くから神木として崇拝されてきた。
	離湖	離湖は湾や入江が長年にわたる沿岸流（潮の流れ）や風的作用等により土砂で外海と分離された湖で、潟湖または潟と呼ばれるものである。平水時面積は 0.36km ² で、府内最大の淡水湖である。湖底には大型の淡水貝が生息し、湖岸にはヤナギ類が繁茂し、冬期にはカモ類が飛来する等自然豊かな湖である。
	郷村断層	郷村断層は昭和 2 年 3 月 7 日、丹後地域北西部に発生したマグニチュード 7.4 の北丹後地震の際に生じ、落差約 60cm、横ずれ約 2.6m の断層が約 18km にわたって発生した。被災箇所はその後復興されたが、この断層は垂直及び水平のずれが顕著であるだけでなく、花崗岩を切断し、岩盤に鏡肌や擦痕をつくっていることから、地質学上大変珍しく貴重なもので、地震の記憶をとどめる記念碑として、今も町内の郷や生野内の集落内に当時のまま残され、国の天然記念物にも指定されている。

出典）特集京都の自然 200 選/京都府

表 2-27 京丹後市の地域資源(2/3)

町名	名称	内容
網野町	琴引浜	琴引浜は、若狭湾国定公園に含まれる全長 1.8km の美しい砂浜である。網野砂丘の一部で、浜を歩くとキュッキュッと音がする「鳴き砂」で良く知られている。 また琴引浜はシロチドリやコチドリ等チドリ類が飛来し、約 900 種類の微小貝や有孔虫が生息しており、後背地には砂丘植物が帯状に分布するなど、貴重な自然が残されている。
丹後町	丹後の海岸地形（城島、立岩、筆石海岸段丘、屏風岩、犬ヶ岬、丹後松島）	小間港の入り口に浮かぶ小島「城島」、周囲が約 1km あるといわれる柱状節理の玄武岩の岩塊「立岩」、日本海が迫る断崖上に棚状の田畑が広がる「筆石海岸段丘」、屏風を立てたような「屏風岩」、犬が寝そべっているように見える「犬ヶ岬」、多数の海蝕島からなる「丹後松島」など丹後半島の沿岸一体は長い年月にわたる風雨と波浪に浸食され、変化に富んだ美しい海岸地形を形成している。
	萬福寺の「文殊のマツ」	丹後町の袖志地区と尾和地区の中間の日本海に面した安山岩の 10m あまりの絶壁の上に、通称穴文殊と言われる萬福寺の境外仏堂がたたずみ、その参道に見事なクロマツの古木がずらりと生い茂っている。近年、丹後半島一帯のクロマツは松食い虫の被害がひどく、地元では薬剤散布や土質改良など並木の保全活動に努めている。
	上山寺	上山寺は、町の東部山間に位置しており、奈良時代に創建されたといわれる、町を代表する古寺のひとつである。境内には、宝篋印塔や多数の石塔、石仏を有している。また、28 坊あるといわれた寺の周辺の坊跡や門の跡と伝えられる地にも、優れた石造物が多数あり、自然と歴史が溶けあった空間として、人々に親しまれている。
	アユ、ヤマメ、アユカケ、カジカガエルなどの生息する宇川流域	宇川はアユ、ヤマメ、カジカガエルや府登録天然記念物のアユカケ等の清流に生息する魚類、両生類が生息している自然豊かな流域である。
弥栄町	野間谷峡谷	丹後半島の中央部に広がる標高 400～600m の山岳地帯にある野間谷峡谷は、日本海へ流れる竹野川流域の平坦部とは急峻な断層崖で分断されている。丹後半島森林公園（スイス村）のある頂上部や、味土野大滝をはじめとする浸食地形で構成される山腹部などはすばらしい自然景観を呈するとともに、小動物の生息地としても豊かな自然を残している地域である。
	小動物（トンボ類、カジカガエル等）や野鳥（カッコウ、オオルリ等）の生息する味土野（ガラシヤの里）	本地域には、アキアカネ、オニヤンマ等 40 種を数えるトンボ類やカジカガエル、モリアオガエル等の両生類も数多く生息している。また、広範囲にわたって自然林が残され、カッコウ、オオルリ、ウグイス等多種類の鳥類が生息するなど豊かな自然に恵まれた地域である。
	木橋の「スダジイ（荒神さん）」	弥栄町木橋におよそ 500 年の歳月を生きてきたスダジイ。幹周 7.9m でシイの木としては府内第 1 位の巨木である。集落を見渡す高台にあり、古来より荒神さん（かまどの神様）の神木として地域信仰の対象となり大切にされてきた。今や台所からかまどはなくなり、巨樹や古木が次々と姿を消すが、地域の守護神としてのこの古木は、現在も自然の大切さを語り継いでいる。

出典）特集京都の自然 200 選/京都府

表 2-28 京丹後市の地域資源(3/3)

町名	名称	内容
久美浜町	大明神岬	大明神岬は、久美浜湾の中央部に突き出た岬で、丘に抱かれた円塚は、丹波道主命の古墳と伝えられ、多数の陪塚を伴っている。標高 20m 程度の海岸段丘地形が広く発達し、湾景の中では最も美しく、古来からその風光の美をたたえられてきた。
	オオハクチョウ、コハクチョウの飛来する久美浜湾	久美浜湾は砂州（小天橋）により日本海と隔てられており、冬場でもおだやかな水面を保っている。 また、比較的水深も浅くエサとなる水草も多いため、オオハクチョウやコハクチョウをはじめ多くの冬鳥が飛来し、冬の風物詩となっている。
	小天橋	久美浜町の湊宮から箱石、網野町の浜詰にかけては日本海に面して延長 7km の砂浜が続き、日本海と久美浜湾を分ける砂州となっている。美しい砂浜は多種類の海浜植物の宝庫であり、また、葛野浜を中心に久美浜湾の成因（古砂丘と火山灰と新砂丘で構成されている）を示す堆積物が分布しており、層序の良く分かる露頭を見ることができる。
	トウテイラン、ハイネズ群落	貴重な海浜植物が自生する山陰海岸国立公園の中であって、箱石浜の砂丘に群生するトウテイランは、全国的にも珍しく貴重なものであり、地元の人々の誇りとなっている。また、クロマツ林の中に広がるハイネズの群落は、府内の他地域では見られない程の規模であり、学術的にも貴重なものである。
	兜山	兜山は府内では珍しい流紋岩の溶岩からできている溶岩円頂丘（トロイデ）で、その特徴である鐘型（兜状）の形を良くあらわしている。山中からはそろばん玉石と呼ばれる玉ずい、石英、たんばく石から成る白いそろばん玉の形をした鉱物（直径 1～5cm）を産出する。山頂には熊野郡の名の起源である熊野神社がまつられ、古来、兜山は御神体として崇められている。山の中腹や標高 191.7m の山頂からは美しい久美浜湾を一望できる。
	甲山の「ヒシ（おーくのフシ）」	久美浜町字甲山にあり、町内最大の沼に 5ha に及んで広がるヒシの群生。沼は地域の憩いの場で、コイやフナ、ナマズを釣る人や船を浮かべてヒシを採取する姿が見られる。春にはヒシが美しい花を咲かせ、近年観光に訪れる人も数多い。地域の人々に「おーくのフシ」として親しまれているヒシは、背景の兜山とともに、久美浜町のシンボルとして今に引き継がれている。

出典）特集京都の自然 200 選/京都府



図2-26 内山のブナ林



図2-27 生王部神社の「スダジイ」

写真引用）特集京都の自然 200 選/京都府

(5) 観光・レクリエーション

本市には温泉や、キャンプ場、古墳、公園など多くの観光資源があり、以下にその概要をまとめる。

表 2-29 京丹後市の観光資源(1/2)

名 称	概 要
森林公園 スイス村	森林公園スイス村は、標高 683m の太鼓山を中心とした広大な敷地に、キャンプ場・テニスコート・高原広場などを備えた、四季を通じて自然を満喫できる高原リゾート。
風のがっこう 京都	環境教育を受けるための施設。伊根湾や網野町、丹後町などの丹後半島を一望することはもちろん、空気の澄んだ日には、能登半島の先端や福井県などを見渡すことができる。
平海水浴場	美しい景色が広がり、水質もよく、安全で家族に人気の海水浴場として京都府の中でも有名なビーチ。
古代の里資料館	縄文・弥生・古墳時代に分けて、石器・土器・勾玉や鏡類を常設展示。また丹後の民族、鬼退治伝説なども紹介している。周辺には竪穴式住居や高床式倉庫も復元され、土器・陶器づくり体験なども実施。美しい展示空間の中で古代世界が体感できる。
細川ガラシャ夫人の碑	細川忠興の妻、ガラシャが本能寺の戦禍から逃れ、この山深い味土野に隠棲した。数奇な運命に彩られ、夫忠興のために殉じて果てた夫人の生涯は、戦国の世に咲いた一輪の花として現在に語り継がれている。
碓高原	標高 400m の高原一帯が牧場とレジャー施設になっている。展望台・キャンプ場・コテージ村・ステーキハウス・牛の資料館など施設が盛りだくさん。ステーキハウスでは、厳選された京都牛、京都ワインが人気。
山村交流体験センター せせらぎ	標高 170m、杉林を背景に建てられた山村体験交流センターは、ロジ風の木造三階建て。

資料：海・山・憩 京丹後市観光パンフレット 旅の達人

表 2-30 京丹後市の観光資源(2/2)

名 称	概 要
琴引鳴き砂文化館	「琴引浜の自然」や「鳴き砂の歴史」、「世界・日本の鳴き砂」を紹介。自然がつくりだした鳴き砂という偉大な財産を実感できる。
豪商稲葉本家	明治 18 (1885) 年から 5 年の歳月をかけて建てられた屋敷を改修し、現代によみがえらせたもの。米蔵を改修した体験工房では陶芸やお香を楽しむ。
静神社	源義経の愛妾・静御前の木像を祀っている。磯の集落の西はずれにある静神社は、リアス式の切り立った崖に建ち、小さな社が哀れさを誘う。社の前方にきらめく青い海と、よせては返す波しぶきが岩礁に砕け散る様は、静御前の悲しみを洗い流すかのよう。
大宮ふれあい工房	陶芸と染色が初心者でも気軽に体験できるアートのスポット。陶芸実習室では、土練りから手回しろくろを使った成型、絵付けまでを体験することができる。また、染色実習室では、伝統的な染色が気軽に体験できる。
平地地藏	上常吉の平地峠に鎮座する府下最大の石地藏。高さは 5.3m。また、右の頬にあざのような黒点があることから「あざあり地藏」とも呼ばれ、信仰を集めている。
金刀比羅神社	文化 8 (1811) 年、時の峰山藩主・京極高備が讃岐の金毘羅権現の分霊をお迎えしたことに始まる。商いの町・峰山を反映して商売繁盛や縁結び、受験の神様としても親しまれている。
大宮売神社	町名の由来となっている古社。「丹後二の宮」として厚い信仰を集めている。境内には国の重要文化財に指定された 2 基の石灯籠がある。
縁城寺・橋木観音	養老元 (717) 年の創建と伝えられる縁城寺は、丹後でも有数の古刹である。国の重要文化財の「宝きょう印塔」「千手観音像」などが安置されている。

資料：海・山・憩 京丹後市観光パンフレット 旅の達人

表 2-31 京丹後市の祭り

名 称	概 要
百度打ち	2月の第1日曜日 10月10日 江戸時代から伝わる伝統行事。冬の寒いなか、禪姿の若者が、間人港で身を清めた後、威勢のよい掛け声とともに3社を巡り、無病息災、家内安全を祈願する。また、10月10日には、1年間のお礼参りを行う。丹後町。
間人みなと祭り	7月25日 元来は、漁師の大漁と海上安全を祈願するための祭りであったが、昭和25年、間人町制30周年を記念して、地域の夏祭りとなった。現在では間人地区内の宝船が菓子や餅を撒きながらパレードを行いにぎわう。
水無月祭	7月30日 河川の下流にある社をまつる行事で、別名「かわすそ祭」とも呼ばれる。浅茂川地区内から海岸まで御輿が巡行。その後、八丁浜にて海上渡御を行い、イベントとして、浦島太郎と乙姫の亀御輿も登場する。網野町。
ちりめん祭り	4月上旬 地場産品「丹後ちりめん」のより一層の振興と発展を願い開催。丹後ちりめんの新作発表会や展示即売、パレードなどの様々な催しが行われている。
竹野川水系万灯	8月14日 大宮の夏の風物詩。久住川や竹野川に沿って置かれた無数の火が、暗闇の中に炎の帯を描き出す。もともと、作物などの害虫を除くための「虫送り」や、先祖の精霊を送るための「送り火」の行事として伝えられてきた。
大宮売神社例祭	10月上旬 氏子により、神輿、雅楽、笛ばやし、神楽、三番叟、太刀振りの順に奉納される。なかでも三番叟は最も古式を伝える伝統芸能で、7歳から12歳までの少年3人が翁の役まわりを演じる、狂言風の格調高い演舞。大宮町。
千日会観光祭	8月9日 この日に参詣すると、千日分の御利益があるといわれる如意寺の本尊をお祀りする祭り。かぶと山の大文字の火入れ、打ち上げ花火、灯籠流しが華やかに繰り広げられる。久美浜町。
金刀比羅神社秋祭り	10月上旬 金刀比羅神社に山車・芸屋台が集結し、1台ずつ社前で囃子を1曲奉納して出発し、本ばやしを奏でながら町内を1日中巡行する。
深田部神社例祭	10月上旬 猿彦田を始め、少年18人の踊り子たち、計25名余りの行列が、昼前から舞曲奉納巡回に出発する。そして午後より、御旅の行列が出発する。行列は神輿3基の担ぎ手30名と御幣を持つ氏子190名が参加し、太鼓輿も馬場を駆けめぐる。弥栄町。
五箇の三番叟	10月上旬 江戸時代の文化・文政期にさかのぼる古い芸能。若連中によって演じられ、氏子の平穏無事、天下泰平、五穀の豊かな稔りを祈るために行われる。峰山町。

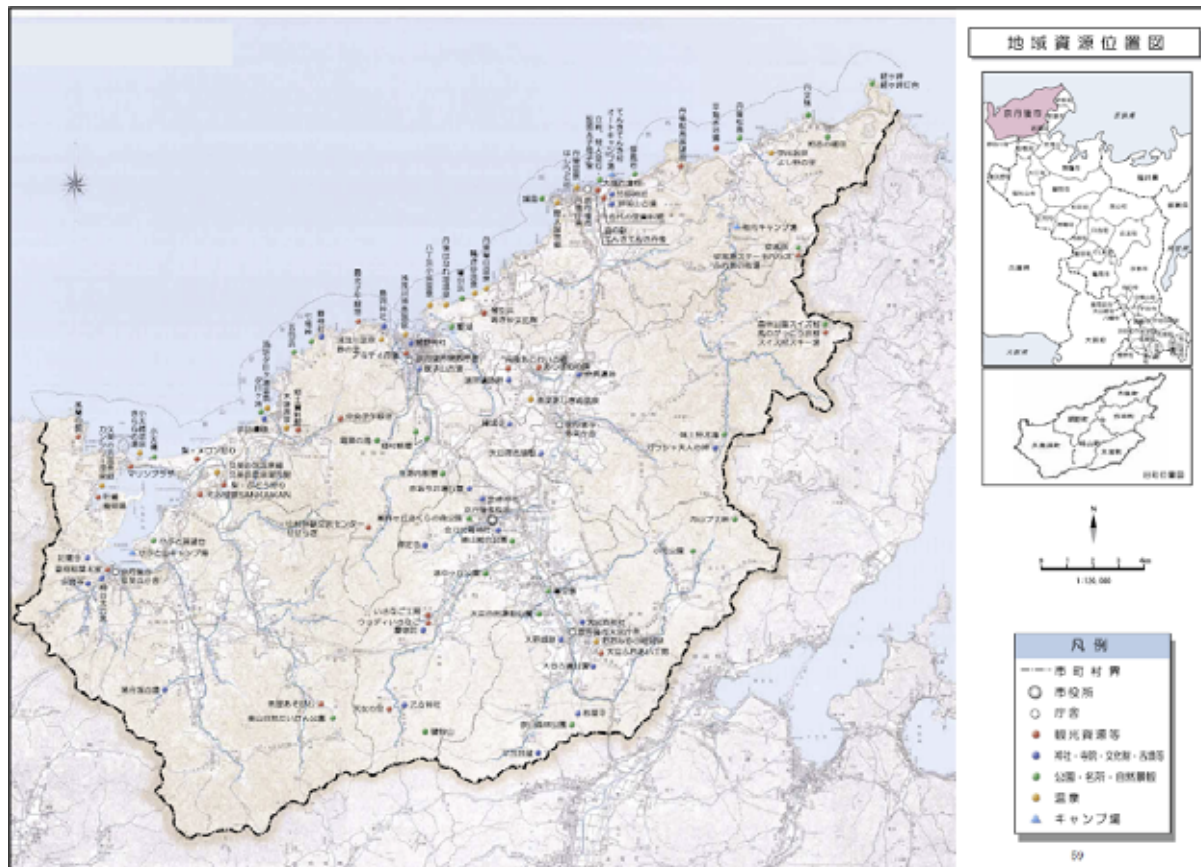
資料：京丹後市パンフレット、創刊号三たん事典「人と祭り」編

表 2-32 京丹後市の食

名 称	概 要
うるち餅 (大宮町)	コシヒカリ 100%のもちの中に、小豆で作ったあんをたくさん詰めたうるち餅。 コシヒカリと小豆は地元産を使用し、添加物は一切使用していない。土産から贈り物、冠婚葬祭等に数多くの注文が殺到している。
ぐら (ノロゲンゲ) 汁 (丹後町)	カニ漁がはじまると、底引き網漁と一緒に水揚げされるぐら。ぐらをすまし汁の具として使う料理法と、酒としょう油で炊きあげる方法と地元では2種類の料理法がある。
ポテトシナモン (弥栄町)	平成 9 年度に鹿児島県主催で行われた食品コンクールにおいて理事長賞を受賞した商品。弥栄町で収穫された風味豊かなサツマイモを使用した甘さ控え目の和菓子。
天然醸造しょう油 (峰山町)	緑豊かな山々からわき出る清れつな水と選び抜かれた原料でこうじを作り、蔵の中で急がずじっくりと1年間寝かせるという昔からの製法で熟成発酵させた天然醸造しょう油。
ばらずし (網野町)	当地に伝わる独特のすしで、祭りや祝い事など、人の集まる時には欠かすことのできない各家庭で作られるもてなし料理。新鮮なさばから作られるばらずしは、今や全国的に有名になり、網野を代表する名物料理となった。
このしろ寿司 (久美浜町)	久美浜湾で獲れた新鮮なこのしろを使った姿ずし。秋から冬にかけて脂がのったこのしろを背割りして酢漬けし、すしご飯の代わりに魚の腹に調味したおからを入れる。

資料：第2巻三たん事典「地域の食」編

地域資源位置図



(6) 歴史・文化

本市には数多くの指定文化財や天然記念物があり、その概要を以下にまとめる。

市の指定文化財としては、内山の大ブナやアベサンショウウオ、鳴き砂などが、国指定の文化財としては郷村断層が、府指定としてはアベサンショウウオ基準産地が天然記念物に指定されている。

表 2-33 京丹後市指定文化財(1/3)

指定年月日 (上段：府登録年月日)	区分	所有者	名 称	員数	所 在 地
昭60. 7. 1	建造物	大宮賣神社	旧本殿	1 棟	大宮町周枳
平5. 4. 9 平16. 2. 13	建造物	宗教法人日吉神社	日吉神社本殿	1 棟	網野町浅茂川
昭51. 3. 1	建造物	蓮華寺	元尾坂寺宝篋印塔	1 基	網野町島津
昭58. 4. 1	建造物	本願寺	勅使門	1 棟	久美浜町十楽
平3. 7. 15	建造物	円頓寺	本堂	1 棟	久美浜町円頓寺
平3. 7. 15	建造物	円頓寺	仁王門	1 棟	久美浜町円頓寺
平3. 7. 15	建造物	宗雲寺	宝篋印塔	1 基	久美浜町新町
平3. 7. 15	建造物	八幡神社	本殿	1 棟	久美浜町鹿野
平3. 7. 15	建造物	売布神社	本殿	1 棟	久美浜町女布
平3. 7. 15	建造物	三島田神社	本殿	1 棟	久美浜町金谷
平3. 7. 15	建造物	丸山区	法華経大石塔	1 基	久美浜町丸山
昭58. 4. 15 昭60. 3. 28	絵画	慶徳院	方丈障壁画（長沢芦州筆） 紙本墨画虎図 8 紙本墨画鶴図 4 紙本淡梅桜図 8 紙本淡彩竹林高士図 1 0 紙本淡彩山水図 6 紙本淡彩山水人物図 8 附 紙本著色維摩像（長沢芦州筆）	4 4 面 1 幅	峰山町五箇
昭60. 3. 28	絵画	縁城寺	絹本著色十王図	2 幅	峰山町橋木
昭60. 3. 28	絵画	縁城寺	絹本著色俱生神像	1 幅	峰山町橋木
昭60. 3. 28	絵画	縁城寺	絹本著色如意輪観音像	1 幅	峰山町橋木
昭60. 3. 28	絵画	常立寺	絹本著色釈迦十六善神像	1 幅	峰山町吉原
昭60. 3. 28	絵画	常立寺	絹本著色不動明王像	1 幅	峰山町吉原
昭60. 3. 28	絵画	常立寺	絹本著色京極家歴代藩主肖像画	1 2 幅	峰山町吉原
昭58. 4. 15 昭60. 7. 1	絵画	岩屋寺	絹本著色釈迦十六善神像	1 幅	大宮町谷内
昭58. 4. 15 昭60. 7. 1	絵画	岩屋寺	絹本著色地藏菩薩像	1 幅	大宮町谷内
昭58. 4. 15 昭60. 7. 1	絵画	岩屋寺	絹本著色五大尊像	1 幅	大宮町谷内
昭58. 4. 15 昭60. 7. 1	絵画	岩屋寺	絹本著色毘沙門天像	1 幅	大宮町谷内
昭60. 7. 1	絵画	岩屋寺	絹本著色楊柳観音像	1 幅	大宮町谷内
平2. 3. 15	絵画	岩屋寺	大江山鬼退治絵巻	2 巻	大宮町谷内
平3. 4. 19 昭61. 5. 19	絵画	竹野神社	紙本著色斎宮大明神縁起	1 巻	丹後町宮
平3. 4. 19 昭61. 5. 19	絵画	竹野神社	紙本著色等樂寺縁起	1 巻	丹後町宮
昭60. 3. 28	彫刻	全徳寺	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	峰山町罇留
昭60. 7. 1	彫刻	岩屋寺	木造阿弥陀如来立像	1 軀	大宮町谷内
昭60. 7. 1	彫刻	岩屋寺	木造観音菩薩坐像	1 軀	大宮町谷内
平15. 10. 27	彫刻	地藏院	石造地藏菩薩立像（平地地藏）	1 体	大宮町上常吉

資料：京丹後市資料